

解答

- ① 形容 ② 実物 ③ 短足 ④ 気品 ⑤ 魅力

二

- ① 百〔発〕百〔中〕 ② 千〔変〕万〔化〕 ③ 七〔転〕八〔倒〕 ④ 九〔死〕一〔生〕
⑤ 三〔寒〕四〔温〕

三

- 問一 A 反応はばっちりだ〔った〕 B どれもつまらない C 五年三組 D ヒーロー
問二 ウ
問三 ウ
問四 ア
問五 ア
問六 ⑤ ア ⑥ エ
問七 ② 耳 ④ 目
問八 ③ イ ⑤ ウ ⑥ ア ⑦ エ
問九 ピッチャーになったほうがいい
問十 ウ
問十一 イ
問十二 ア
問十三 ゴム印で軽

四

- 問一 ① ウ ③ エ ④ イ ⑤ ア
問二 信頼
問三 ヒフ
問四 知覚の領野
問五 A 内臓 B 相当な異常事態が発生
問六 脳が内臓の地図を用意しなかった〔から〕
問七 筋肉が収縮〔すること〕
問八 「子どもを」なんとか押し出そうとして、筋肉が強く収縮〔しなくなるから〕

解説

三

問四 — ③の後にある細田くんの様子から考えます。「学級委員のくせに、困ったときにはいつも君を見る。一学期の学級委員はきみだった。」という記述から、細田くんがブンちゃんを頼りにしていることがわかるので、最適なものは選択肢Aになります。

問十二 — ⑩の前にある「にらみつけて、『なんでだよ』と言った。『勝手なこと言うなよ』」という記述から、「強く聞かれたのでしかたない」という記述を含む選択肢Aが選べます。

四

問三 — ②の直後に「体表とは、外界とわれわれの体とを境する部分だからである。」という記述があり、「なぜ脳が内臓の」で始まる段落に「外界との接点であるヒフについて言えば、」とあるので具体的には「ヒフ」であることがわかります。

問四 — ③を含む一文には「ところが内臓に関しては、脳にそういう地図はないらしい。」とあります。それに対

する形で直前の段落で指について説明があり、指の先が痛いというのは、「脳には指に相当する知覚の領野が、ちゃんとあるから」だと述べていることから、「地図」に相当するのは「知覚の領野」であることがわかります。

問八 一つ前の段落に、陣痛とよく似た痛みである結石の痛みの説明があります。「石が詰まっているから、それをなんとか押し出そうとして、筋肉が強く収縮する。」と理由を述べている箇所から、最適な部分を抜き出します。